

元気企業
訪問

株式会社
プラントリイ

大物板金加工に特化 設備と技術力で 大手の信頼一手に 地元雇用にも貢献

育ててもらいながら技術を獲得

宍粟市千種町にあるプラントリイの本社工場。天井高は8.5メートルあり、大型のクレーン、溶接機が各所に配置されています。同社が得意とするのは、大物板金加工。発電所や工場に設置される高圧配電盤や高圧インバーター盤の本体を囲う外側の筐体を主に製造しており、その大きさは約4メートル四方もの大きさになります。

かつては建物などの構造物の加工を主に手掛けていましたが、1970年代以降、姫路や神戸の大手電機メーカーからの依頼を受け、配電盤筐体の薄板板金へと得意分野をシフトしていきます。「大手メーカーが協力業者を育てようとしてくれた時代。最終の納

入先は官庁が多く、特に厳しい品質を求められたので、教えていただきながら技術を獲得していきました」と鳥居秀次相談役は振り返ります。

以前は形鋼(アングル)で骨組みを作る工法が主力でしたが、素材と加工技術の進歩により薄板鉄板を使った工法に変化。大手電機メーカーからの受注も増えてきたことで、2000年ごろから大物板金加工へ特化していきます。

設備貸与制度の活用で設備を更新

それにつれて大型の工作機械をはじめとする設備の更新が以前より頻繁に求められるようになりました。地元の商工会議所からの情報で、ひょうご産業活性化センターの設備貸与制度を

知った鳥居相談役は、これを活用して02年に曲げ加工ができるプレスパンダーを導入しました。「1台が5千万円を超える機械ですので、金融機関からの借り入れだけでは追いつきません。設備貸与は銀行の借入枠とは別に利用できるもので、そこが一番助かっています」と話します。以降、大型薄板を加工用に出し入れするためのラックも導入し、工程の合理化も併せて進めています。各種設備を使って、形鋼(アングル)によるフレーム構造工法、鉄板折り曲げ加工によるフレームレス工法、リベット組み立てによる溶接レス工法など求められる強度に応じて加工法を使い分けています。

「業績が厳しくなれば金融機関はどうしても貸出姿勢が慎重になりますが、活性化センターはどんなときでも私たちの事業に対する姿勢を評価してくださり、長期的な視点でサポートしてもらっています」

31人の従業員は全て正社員

過疎化が進展する千種町にあって、プラントリイは町に本社を置く最大手企業です。鳥居史郎社長は「地域を元気づけるためにも雇用を生み、守る責任があると感じています」と話します。

同社の従業員31人は全て正社員として採用し、技能継承のために毎年欠かさず採用を続けています。鳥居社長は、町内の中学校で自社がどのような仕事をしているかを紹介し、工場見



本社工場

学の機会も設けています。「中学生の中から、将来当社で働いてくれる人が出たらうれしいですね」。

豊かな自然環境に恵まれた千種町

で仕事をできることに喜びを感じている社員も多く、中にはアユ釣り名人やイノシシの狩猟免許を持つハンターもいます。「社員同士が仲良く、定着率が

高いことも特徴です。これからも町にしっかり根付いて仕事を増やしていきたいですね」という言葉から、地域への強い愛着が伝わってきました。

会社概要
株式会社プラントリー

所在地 穴粟市千種町黒土80
取締役社長 鳥居史郎
事業内容 大型筐体の板金製作

TEL 0790-76-2250
URL <http://www.plantory.co.jp/>

支援メニュー講座

設備貸与制度

設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

制度概要

設備等の増強・更新を図ろうとする中小企業の方に代わってセンターが設備等を購入し、中小企業の方に長期（7年以内）かつ固定金利（年率1.25%～2.25%）で割賦販売またはリースするものです。

メリット

最大のメリットは、金融機関の借り入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず当センターは、曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営・技術・情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-230-8801